

巻頭特集：九州企業のグローバル展開状況について

九州における様々な分野でグローバル展開を図る企業の活動状況について、ヒアリング調査を実施し、以下の成功事例等を取りまとめました。今後のグローバル展開を検討する上で、ご参考となりましましたら幸いです。

- 事例 1 株式会社シマブン**（福岡県久留米市・住宅機器等販売）
～子供からお年寄りまで誰もが使いやすいユニバーサルデザイン バリアフリー対応！～
・・・・・・・・巻頭 1
- 事例 2 株式会社七尾製菓**（福岡県北九州市・菓子製造・販売業）
～「愛されるお菓子」を作り続けます！～
・・・・・・・・巻頭 2
- 事例 3 平戸金属工業株式会社**（福岡県福岡市・建設機械等製造業）
～地球環境に野菜しい機械を目指して！ 「今日」から「次代へ」 そして世界のHIRADOへ～
・・・・・・・・巻頭 3
- 事例 4 株式会社リョーワ**（福岡県京都郡苅田町・油圧に特化したメンテナンス等）
～困ったらリョーワに聞け！「油圧と外観検査の最期の岩」～
・・・・・・・・巻頭 4
- 事例 5 レグナテック株式会社**（佐賀県佐賀市・インテリア・家具の企画・製造・販売等）
～有明海を臨む小さな町から、日本の家具が世界に羽ばたく～
・・・・・・・・巻頭 5
- 事例 6 株式会社 Girls, be Ambitious**（福岡県福岡市・フィリピン商品販売等）
～“喜び”をつなぐ次世代のフェアトレード～
・・・・・・・・巻頭 6

事業の概要

ユニバーサルデザイン商品(トラップ付き排水ユニット、グレーチング、ア
クセサリー、手すり、ドアハンドルなど)を製造・販売。

本社機能は久留米、製造拠点は佐賀県みやき町にあり、それ以外
には東京に営業所が所在。

大手企業と代理店契約を結び、国内全域で営業を展開している。

海外展開のきっかけ・最近の動向

今後の国内市場の縮小、それに伴う売上の減少を見越して海外へ打って
出ることを決断し、海外展開を本格化すべく外国人材を採用した。

当初、中小機構のFS事業によりシンガ
ポールのマーケティングを開始、JETRO
の支援策を活用し、マレーシアへ進出。
その後の進出のきっかけは、先方からの
引き合いがあり進出することが多いが、
タイでは展示会に出展したことをきっか
けに代理店を見つけるなど、担当者の中
心に積極的に海外展開を行っている。



マレーシアで開催された「ARCHIDEXJ」
展示会での受賞の様子

現在では、マレーシア、シンガポール、タイにそれぞれ2店舗ずつの代理
店がある。海外展開の商材は主にグレーチングとステンレス製鏡。樹脂
製のグレーチングは上部が柔らかく、下部が硬いという独自の技術であり、
滑らない・割れにくい・冬場は冷たくならない・曲線にも対応可能などの特
徴を持っている。ステンレス製鏡は割れず、アジアではまだ流通していな
いためニーズがある。

課題・メッセージ

日本のサイズ・規格と違うため、現地に合わせた生産になり、製造コストが
上がってしまう。価格競争はたたくなく、いいものをもって勝負したいが、コ
ストを下げることも含め検討している。

FS事業を行ったシンガポールでは、プールで割れたグレーチングがそのま
ま使用されており、品質が悪く、壊れやすくても、安いものが求められること
もあった。このように現地に実際行ってみてわかることも多く、まずは実際
に現地に行くことが重要だと認識している。

企業概要

代表者名: 代表取締役 島 信英

所在地: 福岡県久留米市中央町28番地7

従業員数: 34名

資本金: 2000万円

事業内容: 住宅機器・建築部材・ユニバーサルデザイン商品製造、
販売

沿革

明治 4年 : 瓦屋松右衛門、久留米藩に瓦葺棟梁を解かれ、瓦製造販
売業を創業

昭和 7年 1月 : 島健太郎(文太郎)四代目代表、建築材料の取り扱い開始

昭和41年 10月 : 有限会社島文建材店を設立

昭和59年 5月 : 商号を有限会社シマブンに変更

昭和63年 5月 : 商号を株式会社シマブンに変更

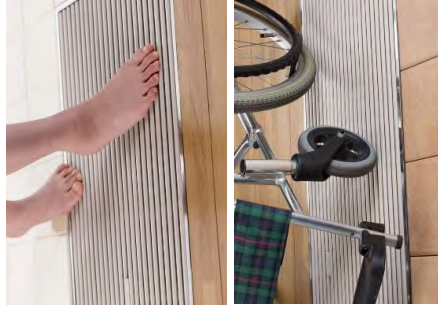
平成17年 7月 : ISO9001:2000認証取得

平成18年 11月 : ISO14001:2004認証取得

平成22年 4月 : ISO9001:2008認証取得

平成23年 2月 : 建設業許可取得

平成29年 7月 : ISO9001:2015認証取得
ISO14001:2015認証取得



事業の概要

昭和32年に創業、翌年、会社設立し、和菓子、洋菓子、ドーナツ、ゼリー等を製造・販売している。
特に、小麦粉焼き菓子については生産量日本一、ドーナツ類は九州地域の量販店市場で、マーケットシェアトップを占める。

海外展開のきっかけ・今後の方針・最近の動向

国内の少子化による消費人口減少に伴い、国内市場の今後の成長に期待ができないことから2011年頃から海外展開を開始した。

海外の展示会や商談会に参加(JETRO等の支援機関の支援策活用)した結果、評判も良く、韓国への輸出を皮切りに、現在、東アジア、東南アジア、オセアニア、米国へ焼き菓子類を直接輸出している。なお、パッケージは日本国内で流通しているままの姿で輸出している。

以前はフランスやイギリスにも輸出していたが、鳥インフルエンザの影響からEUへの卵を使用した商品の輸出が禁止となり、現在まで輸出の再開ができていない。

現在の売り上げではまだ国内が大半であるが、今後は海外シェアを増やすよう積極的に進めていく。

課題・メッセージ

海外展開を進めていく上で、現在、HACCP取得、ハラール認証取得に向けて動いているところである。

また、海外対応のため外国人人材を1名採用しているが、今後、さらに増やすことも考えている。

さらに、特許や商標についても対応していくことが必要と考えている。
なお、代金回収については、海外からの前払い送金が確認でき次第発送の形をとっていることから、特に問題は生じていない。

企業概要

代表者名： 株式会社七尾製菓
所在地： 北九州市小倉南区葛原1-9-7
従業員数： 220名
資本金： 4,000万円
事業内容： 菓子製造・販売業

沿革

昭和32年 2月： 創業
昭和33年 3月： 七尾製菓設立
昭和63年 11月： 現在地に本社移転
昭和63年 12月： (有)七尾製菓から(株)七尾製菓に組織変更
平成29年 2月： 創業60周年を迎える



事業の概要

当社は平戸グループの本社、超硬工具及び自社開発の油圧ポンプを駆動源とした、石材やコンクリートの油圧破砕機や鑄物残材再処理油圧機械の湯道破砕機、湯道切断機、堰折機及び、空圧ドリル搭載岩盤穿孔機等の機械を製造。

国内及び中国の販売は関連会社を実施、なお、中国以外の海外は当社に海外事業部を設置し、直接実施。

海外展開のきっかけ・今後の方針・最近の動向

当初、鑄物残材再処理油圧機械を海外に販売開始し、海外での製品の販売実績も増えたことから、10年位前、海外への販路を本格的に開拓するため、製品をドイツで開催された自動車産業の展示会へ出展、これを皮切りに、トルコ、インド、上海、北京などの展示会にも出展し、販路を拡大。販売においては、商社を経由せず、自社で直接行っており、現地の代理店も自社で選定。

その結果、当社の製品が多くの自動車部品工場で使用されるようになるとともに、自社の名前も広く知られるようになり、昨年くらいから建設機械についても当社HPを通じて多くの問合せが増加。

これを機会に、建設機械についても海外展開を図ることとし、まずは、既に鑄物残材再処理油圧機械の販売実績もあり、九州から地理的にも近い東南アジア、特に、タイやベトナムへの進出を念頭に海外事業を進める予定。

課題・メッセージ

鑄物残材再処理油圧機械の海外への販売にあたっては、販売先が主に自動車部品製造の企業であり、企業の納入先である自動車メーカーの一のスタッフが機械のメンテナンス等の対応ができることから、当社が現地に対応することは少ない。

しかし、今回、建設機械の海外展開を図るにあたって、ほとんどゼロからのスタートであり、現地での営業、メンテナンス等の対応ができる人材の確保が必要。

企業概要

代表者名: 代表取締役社長 下向 章弘
所在地: 福岡県福岡市博多区月隈6-22-37
従業員数: 41名
資本金: 1,000万円
事業内容: 製造業(建設機械、鑄物残材再処理油圧機械等)

沿革

昭和41年 5月 : (株)斎藤商事設立
昭和47年 1月 : 平戸金属工業(株)に名称変更
平成21年 5月 : 平戸機械(上海)有限公社を設立
平成28年 5月 : 現在地に本社移転
(旧:福岡県春日市)

建設・土木関連製品



ロックスプリッター↑



↑ウォールクラッシャー
新製品 α(軽量型)
←油圧ポンプ
新製品 カリーノ(軽量型)



↑ウォールクラッシャー
新製品 α(軽量型)

←油圧ポンプ
新製品 カリーノ(軽量型)



アタッチメントドリル↑



↑強力型ハブカー

事業の概要

1968年創業し、油圧機器の修理や油圧装置の総合メンテナンスや油圧配管工事、油圧ユニットの設計製作など油圧に特化した事業を展開している。

また、2013年から、目視検査による検査のばらつき改善、生産人口減少による作業員の採用難、トレスビリティの確立などの顧客ニーズにこたえ、「人の目に近い自動外観検査装置」を開発、展開している。

海外展開のきっかけ・最近の動向

従来より国内取引先企業の油圧関係のメンテナンス等を実施していたが、企業の海外進出に伴い、海外での日系企業のメンテナンス等も手掛けるようになり、海外展開を図った。

その後、リーマンショック、東日本大震災の影響、さらに国内の油圧式から空圧式、電気式へのシフトの動きから、国内の業種の減少に伴い、海外展開を強化し、現在では日本全国、中国、台湾、タイなどの海外を含め取引先は1300社を超えた。

一方、外観検査装置については、国内外の展示会に出展、特にタイの「METALEX」には2014年から毎年出展している。（海外展示会出展時はJETROのジャパンブース活用）

その結果、各方面から注目を受けるとともに、タイ国立カセサート大学との了解覚書（MOU）の締結、ドイツ自動車大手との技術連携することになった。

今後は、新たな収益の柱とすべく模索しているところである。

課題・メッセージ

人材確保が難しくなる中、外国人（中国人、タイ人、インド人、ネパール人など）の採用を進めている。今後もAIシステム開発や海外展開を進めていく上で、優秀な海外人材を積極的に活用していく予定である。

また、海外と事業を進めていく上で、今後知財対応が必要となってくる。知財対応、英語研修、外国人研修などについてJETRO、県、市等の行政機関の支援策の利用を考えている。

企業概要

代表取締役 田中 裕弓

所在地： 福岡県京都郡苅田町鳥越町10-5

従業員数： 23名

資本金： 2,000万円

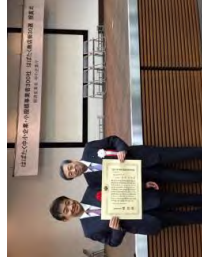
事業内容： 油圧に特化した総合メンテナンス等、自動外観検査装置の開発

沿革

昭和43年 5月： 田中設備工業を発足
 昭和46年 2月： 良和工業と社名変更
 昭和48年 5月： 良和工業株式会社と改称
 平成11年 5月： 本社を現在地へ移転
 (株)リヨワーへ社名変更
 平成20年 3月： ISO14001 認証取得
 平成22年 11月： 経営革新計画承認
 平成24年 11月： タイ進出
 平成28年 5月： 経済産業省中小企業庁

「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に選定

はばたく中小企業・小規模事業者300社
 (右から林経済産業大臣、田中社長)



←油圧装置(射出成形機)のメンテナンス



外観検査装置→

事業の概要

当社は、一般家庭用家具や公共施設及び店舗用特注家具並びに創作家具、インテリア小物の企画・販売・製作・販売、オリジナル雑貨、各種インテリア雑貨の販売を行う総合家具メーカーである。

現在、オリジナルブランドの『CLASSE』、また、共同ブランドの『ARIAKE』及びJICAの草の根事業をきっかけとした『CLANTREE』を展開している。

海外展開のきっかけ・最近の動向

従来から海外への輸出は行っていたものの、創業50周年であった2014年、国内の少子化、人口減による需要減少を見越し、販路拡大を目的に本格的に海外展開を開始した。

2014年の1年目、シンガポール国際家具展示会 (IFFS) に、後に『ARIAKE』ブランドと一緒に立ち上げることになる平田椅子製作所を含む数社と出展したものの、結果は芳しくなかった。2年目も再度出展したものの結果は同じであった。

3年目の挑戦にあたって、2年目の出展の際に知り合ったシンガポールのデザイナーへ、平田椅子製作所とともにデザインを依頼したところ、引き受けてくれるだけでなく、世界各国のデザイナーにも声をかけ、多くのデザイナーが参加するプロジェクトとして動き出した。こうして、平田椅子製作所と2社で『ARIAKE』ブランドを立ち上げることになった。

2017年3月のIFFSにて、『ARIAKE』ブランドの製品を出展したところ、大反響の高評価を得る結果となった。

その後も東京をはじめとする展示会に出展し、来年2月には、家具の本場であるスウェーデンの展示会への出展を予定している。

現在、香港、中国、台湾、シンガポール、オーストラリア、デンマークの6カ国での取引を行い、今後も販路を拡大していく予定である。

課題・メッセージ

海外展開にあたっては、レスポンスを速やかに行うことが重要であり、言葉の壁は大きく感じている。そのため、外国人スタッフ1名を採用しているが、今後、海外展開が進めば、採用の拡大も考えている。

また、海外での価格競争にあたって、製品価格を抑えることが重要である。そこで、商社などに手続きを代行することによる中間マージンをなくすため、輸出における手続きを自前で行っている。

企業概要

代表者名： 代表取締役 樺島雄大
所在地： 佐賀県佐賀市諸富町山嶺266-1
従業員数： 45名
資本金： 1,200万円
事業内容： インテリア・家具の企画・製造・販売

沿革

昭和39年 6月： マルニ木工を創業
昭和47年 9月： 諸富マルニ木工株式会社を設立
平成元年 9月： レグナテック株式会社へ社名変更
平成16年10月： 厚生労働省より高齢者雇用開発コンテストで努力賞受賞
平成18年 3月： 中小企業経営革新計画承認企業の認定
平成22年 11月： 経営革新計画承認

3つの自社ブランドを展開しています。



ARIAKE
有明

世界7カ国のデザイナー連と、日本文化のスピリチュアリティと生活習慣にインスパイアされ完成したデザイナーズブランドです。



CLASSE
Happiness of living

シンプルで飽きのこないインテリアの追求をコンセプトにした「LEGNATEC」オリジナルブランドです。



CLANTREE

ラオス産のチーク材に、日本の家具づくりの技を注ぎこみ完成したブランドです。



『Ariake』プロジェクトのために集ってくれた国内外のデザイナー連と、その発想を形にした諸富町の家具職人連。(中央左奥が樺島氏・中央右奥が平田氏)。

事業の概要

フィリピンにおける食品、化粧品、雑貨等の商品企画・生産・品質指導、および同商品の輸入販売を展開。
特に日本とフィリピンをつなぐ「オーガニック×フェアトレード×無添加」にこだわった商品の販売や、ツアー事業・コンサルタント事業などを通して、人と人、地域と地域が結びつき、ビジネスの中で、お互いの良さを理解しながら「喜びにあふれた」フェアな関係性を築く為のサポートを実施中。

海外展開のきっかけ・今後の方針・最近の動向

学生時代にNGOのボランティアでフィリピンに滞在、その後、JICA青年海外協力隊で同国における農産品の商品化や販売などに取り組む。こうした活動を通じ構築したフィリピン農業省とのつながり等を活かすべく、帰国後当社を設立し、事業を開始。

主に、フィリピンで栽培されるモリンガについて、現地の契約農家から仕入れ、1次加工（乾燥）した状態で原料として輸入し、国内で2次加工しオイルやパウダーに商品化・販売。

また、現地の食品や化粧品会社とのネットワークを生かし、学生のスタディーツアーや、企業向けのビューティーツアー（ブランディング・ビジネスマッチングを含む）などを企画・運営。

その他、アラミドコーヒーやココナッツオイル等の輸入など、フィリピンのいいものを日本に広めたいという思いで、これらB to Cの活動と、現地ネットワークを活かした卸のB to Bの事業を並行して行っているところ。

輸入のみならず、現地法人を設立し、日本からの化粧品の輸出事業についても展開中。

課題・メッセージ

「フィリピンの本当の魅力を伝える」と「フェアトレード」の実践をより大きく展開するため、フィリピン製品の安全・安心の理解を広げるため着実に根気強く事業を実施。

企業概要

代表者名：代表取締役／フィリピンコンシエンシエルジェ 山田 麻樹
所在地：福岡市中央区薬院2-6-22
従業員数：2名
資本金：200万円
事業内容：フィリピン商品販売、コンサルティング、ツアー事業等

沿革

2012年10月4日：創業
2014年4月1日：設立
ソーシヤルプロダクツ・アワード受賞（apsp）（2014年2月）：

